

K S K Q

2023年度 第3号

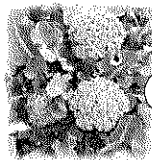
オリーブだより



あつという間に桜の季節がめぐってきました。オリーブでは毎日のように天気の話がつきものです。雨降りによって不安になったり、畑の心配をしたり作業も影響されます。どんな一年になるかわかりませんが、雨降りのことはそれぞれに対処したり、折り合いをつけたり、みんなでその不安を時々分けあいながらまた一年をと。

さて今回は今年度の振り返りからお伝えしたいと思います。

この一年をふりかえって



←畑のプロッコリー
おいしくたくさん育
ちました

令和5年度はようやくコロナが落ち着き、様々な行事が平常化した一年となりました。観光関係の復活で内職や自主製品の注文も多くなり忙しい日も増えましたね。醍醐寺のお客さまも多くなり清掃作業も忙しくなりました。外販関係のイベントも一気に再開となり、オリーブの野菜やパンもよく売れました。加工では休日出店のためのお仕事が急増しました。レクリエーションでは人の多い観光地に出かけたり、飲食の機会も多くなりました。中でも5年ぶりの京都府外への旅行は感慨深いものとなりましたね。帆船のデッキから初めて見た鳴門の渦潮の迫力！阿波踊りの滑らかな身のこなし！夢のような非日常の時間を思いっきり味わった2日間でしたね！

この1年それぞれに感じたことがあったと思います。出会いがあれば別れがあり、人生にとって大きな区切りの年となったメンバー・スタッフもおられたことでしょう。その時々隣にいて、感動や勇気、さびしさ、楽しさ・・・色々な思いを共に味わいながら歩いて行くことができたと思いますし、これからもそうありたいと願っています。

今年度ありがとう、来年度もまたよろしくお願いします！！

みんなの思いやそれぞれのペースを大切にしながら、これからも歩いていけたらと思います。

(正岡)

オリーブの日常



醍醐寺
上醍醐作業のお昼ご飯の
風景



畑の作業後。道具を綺麗に洗います



寄付で頂いた毛糸を糸巻き。ボランティアさんと。



2階の作業場に行く階段。毎日何往復も。糸くずも下に降りてきちゃいます

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

私のこの一年

メンバー、スタッフそれぞれの一年がありました。みなさんはどんなことを思い出しますか。

まあ何とかオリーブ来て良かったなあ思ってるんですけど。歯医者とかも何とか通ってるけど。家のことはお父さんがいなくなって寂しいです。この前の土曜は弟やお母さんと焼肉を食べに行き楽しかったです。(N.H)

出てくるところがあるのはありがたい。オリーブで作る味噌汁の腕があがった。調味料・火の入れ具合・タイミング・材料その他を30分の間で変えていくことで味が変わり美味しくなった気がする。今まで自分が作ったものは美味しくなかったが、今は家のものも美味しい。(文字)



グループホームで私が作った夕食のメニューを振り返ります。おでんの日、さっぱり煮の日、とんかつの日等ターずつ思い起こすと「あの日はあんなことがあったなあ、こんな日だったなあ」と付随して記憶がよみがえって来ました。

メニューを確認すると定期的にカレーの日や同じ副菜が続いている時がありました。「なんでなんだろう」と同じように思い出し「ああそうか」とスッと納得が出来ました。

夕食迄に予定がたくさん詰まっている日や、何となく疲れている日など(もちろんそれだけではないですが、)「まあみんな好きやし」まあええかと思いつつ作っていました。

見方によってはさぼっているかと思うかもしれません。でも私は上手く抜けるようになったなあ、成長したなあと自画自賛していました。全力投球も時にはいいでしょう。しかし今まではダッシュしつづけてバテテしまうこともたくさんありました。時には歩いて、時にはダッシュして「まあええか」と抜きながらポチポチの方が私に合っているのでしょう。来年も「まあええか」「なんとかなるわ」と口ずさみながらポチポチと行きたいと思います。(稲井)



←ある日のグループホームの夕食。おろしとんかつに、千切りキャベツの上にはたっぶりのたまごマヨ

一年間か。早いなあ。

タイガースが優勝して良かった。あと大リーグの「マエケン」が活躍することを期待している。今年もタイガースが優勝することも期待する。

自分のことは何も変わらない。週1回外食するのが楽しみ。とんかつ屋、ラーメン屋、王将。それやな。

それと焼き芋!ランキングがあり、3月の時点でマツヤスーパーとドンキが1位を張り合ってます。オリーブは早く無くなって寂しいな。オリーブ芋の3月の味を知りたかった。もっと長くやってほしかった。

3月の終わりから忙しくなります。プロ野球と大リーグと京都サンガと女子ゴルフが始まり、もうオリーブに来ている暇がありません。何とか頑張ってきました。(S.T)

何度も同じ失敗を繰り返す自分に嫌気がさして、できないことばかり目が向いては自分で足りないことばかりを探していました。でも自分の特徴なんだな、無理なんだよな、と思ったら少しだけですが楽観的に自分の行動を考えられる後半でした。(N)

振り返って言うほどのものはありません。何も変わったものはないし、マンネリ化しています。(M.T)



←そんなMさんの絵。毎回描かれた絵をサロンに飾っています。サロンの為に描いてくれたそうです。

七ヶ利干し大根職人



まだまだ寒い2月末の朝、内職場等よりも少し早く、その作業は始まっていた。
 まだわずかに土の残る大きなダイコン10キロほどを、前かけなどをつけた2人が
 たわしでこすり洗う。すると、職員さんが葉を落として3つぐらいに切り分けてかごへ入れる。
 間にさっきの2人が、今度はミカン箱ぐらいはあろうかという透明のケース2つの中に分厚い板
 木をそれぞれ2つずつ設置し、これまたとても大きくて鋭そうな刃のついたおろし器をセットして、
 次々とかごの中のダイコンを切り干しサイズにしていく。途中、刃の部分が少し緩んでいたのか、
 ネジやハンマーなどを使って締め直していたり、前かけをつけて作業している様も相まって、も
 う職人のようだ。

しばしの定時休憩をはさみ、その切り干し状のダイコンのケースを、歩いて5分ほどの畑へ手
 押し車で運ぶ。その一角にある、職員さんたちとともにビニールを張ったというハウスで、今度
 は天日干しにするべく棚へ並べる。

職員さんに誘われ、私も見よう見まねでなるべく重ならないように並べてみたものの、ベテラン
 さんに注意を受けてしまい、思った以上の難しさを感じる。

ここで並べられたものは、早ければ5日くらいで乾き、二度三度のチェックで異物がないのを確
 認後、店頭などに出されるということだった。

この切り干しダイコン、煮物にしても、汁物に直接入れてもおいしいようなので、ぜひ一度ご賞
 味いただければと思います。(E17)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認

毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

このひと言があるから 今がある

これまでの暮らしの中で印象に残っていたり、救われたりした
 言葉を書かせていただきました。

ひび 無病息災に

私は最初来た時は、笑うことも泣く事も
 花を見ても綺麗と感動する事もない精
 神状態で来ていました。月曜日と水曜
 日の2日間だけでしたが、ある時週4日
 間にして内職の仕事をするのに朝2階
 へ上がろうとした時に、ある方がニコッ
 とされた笑顔を見たときに、やっぱり笑
 顔ってすごいなあ〜と嬉しく優しい気持
 ちになりました。

「もうがんばるよ」

M.N

自然にまかせ
ること T.M

たいてい勇気づけられたり
 救われたりする言葉は、自
 分に対する答えだと思いま
 す。

思い通りの人生なんて

言葉集でしげ
や、と
が、い、ふ
る、い、り
勇、気、よ、し
で、し、げ、な
た、け、ら
と、な、ん、て

「深く考えすぎずに」主治医だった先生が
 最後の診察の時に紙に書いてくれた
 言葉です。短い言葉に全てが詰まっ
 ているように思っています。今でも悩んだ時に
 思い出すように
 H.F

骨髄の注射の時、看護
 師さんに優しくされた。
 非常に救われた。まさ
 に白衣の天使(藤田)

生きてるだけで
 まるもうけの

石田

これから先の人生 難所
 きのり越えなご
 見たことがないかきしれない
 景色をいっぱい見る

理事長のひとこと

「報酬改定に思うこと」

令和6年度より報酬体系が改定され、福祉サービスの評価の軸が変わります。個々の説明はここでは省きますが、ソーシャルワーカーとして大切にすべき、リカバリーやパートナーシップ、主体性の回復等の理念がないがしろにされている印象を受けます。例えば、施設で提供している屋食等への補助としてある「食事提供体制加算」の要件が、①栄養士等が献立作成に関わる、②利用者の摂取量の記録、③体重やBMIの記録の3点が加わります。公金を使うので、当然の部分もありますが、メンバーと一緒に何かをすることで信頼関係を築いたり、メンバーの強みを知ったり、回復へ向けて共に歩む存在であろうとすることは、ここには意識されていません。むしろ真逆な管理的な意味合いであったり、支援する側と支援される側の分断が生まれたり懸念されることが多くあります。働く場所に体重やBMIを知られたいでしょうか？また、生産活動の参加を評価する報酬体系における短時間利用減算(4時間未満の利用者が全体の5割を超える場合)は、そもそもこの報酬体系自体が工賃の多寡に関係なく、メンバーが自分たちの病状や体調に合わせた通所が出来るものを担保するものであったはずだと思うのですが、何のために作ったのだろと思うってしまう改定内容になりました。(おそらくこの報酬体系への安直な新規参入の増加や収支差率が高かったこと等が理由かと思いますが、私の読みこなしが足りない部分もあるかと思いますが、ご容赦ください。)他方で、当然メンバーの実情や私たちの声が反映されたものもあります。メンバー、家族、スタッフ、行政等立場の違いで、見えているものが違うので、対話を重ね互いに理解を深めることが何より肝要です。

その評価の軸があるからする、しないではなく、必要だからするといった当たり前の部分を取り戻し、何のために施設があるのか、何をメンバーと一緒に実現したいのかを考え、取り組む姿勢で常にありたいと思います。そのようにしてこれまで福祉は作られてきたはずです。そして、私たちもメンバーと一緒に成長する存在であることを再認識し、それぞれの支援の場でメンバーと共に歩むことを続けていってほしいと思います。支援は相互作用、今日も新しい関係が生まれることを願って。

- ・2024年は仕事もがんばるしサッカー観戦やお風呂やさんめぐりや旅も楽しみます。一日一日を大事にし楽しく、一生懸命に2024年も生きていきます(Y.K)
- ・最近忙しいのか、趣味などには時間をつくってあてている感じです。私って、こんなまじめな人間ではなかったはずなんです。(E17)
- ・みなさんの心に残っている言葉を聞いていると、どんな背景や物語がそこにはあるのだろうか興味深かったです。知っているようで知らないことばかりです。(はま)

糸の寄付のお願い
 オリーブでは寄付で頂いた糸や毛糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切に使用させていただきます。

編集後記

いつもありがとうございます。
 河村京豆腐店様、岩村チエ子様、佐藤純様、大久保様、奥田様、谷直介様、三代一枝様、西谷様、山田様、駒澤真由美様、原悦子様、松里園ふれあいの会様、木谷真人様、木谷恵様、(株)大曜様、京都奉製(株)様、大井啓吾様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、おおよけの里様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリアパリー京滋様、竹之内運送(株)様、食まちアグリゲーション様、無印良品京都山科店様、里地会クリニック様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、(株)ヤマシナ様、おもてなし処阿吽様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、国際交流の会とよなか中園様、ちりめん山椒京小町もり様、ケアンズアイ様、近畿オービス様、へいあん後見福祉ネットワーカー様、公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区役所保健福祉センター様(令五年八月〜令六年三月順不同)

※オリーブだよりのバックナンバーを読みたい方は、ホームページにも掲載しております。

オリーブだより 2024年3月編集
 発行人
 関西障害者定刊行物協会
 大阪市天王寺区真田山町2-2
 東興ビル4階
 編集人
 オリーブホットハウス
 社会福祉法人 オリーブの会
 京都市山科区東野中井ノ上町3-33
 TEL : 075-591-4669
 FAX : 075-591-4679
 ホームページ <http://olive-net.info/>
 フェイスブック
<https://www.facebook.com/olivehothouse/>
 メールアドレス
 olive-cw@rio.odn.ne.jp
 定価 50円

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)発行